

非

特43

650

認可

弘道新說

№ 4624

緒言

此冊子錄修身要語、以頌大成會員者也、分爲三項、

第一項論教育之主旨、品行之方法、德義之妙用、而每

冊揭其目、以明要旨、

第二項爲言行錄、大凡古今人士嘉言善行、可以爲

範、則錄之、會其所寄論說、亦載于此、而其言之過簡過

略、或未完、則編者不能任其責也、

第三項爲詩文、雜評、錄詩文、關於風教者也、而文雅之

可愛者、亦間取之、蓋文章之道、固主立教、傳道、雖然、非

妙于辭、敏于筆者、不能感人心、動人意、故有取于詞也、



以爲學文章之方而已。

明治二十一年一月

南岳藤澤恒識

弘道新說

藤澤南岳 述

文質ヲ論ス

南海ノ帝ヲ儵ト云ヒ、北海ノ帝ヲ忽ト云ヒ、中央ノ帝ヲ渾
沌ト云フ、儵ト忽トノ二帝、時時ニ相與ニ渾沌ノ地ニ會遇
ス、渾沌ノ二帝ヲ待遇スル、甚タ厚ク至レリ、儵ト忽ト其德
義ニ報ユル所以ヲ謀リテ曰ク、人ニハ皆七竅アリ、以テ視
タリ聽タリ食シタリ息シタリスルニ、渾沌獨リ之レナシ
試ニ鑿ナテ以テ報トセント、此ヨリ日日ニ一竅ヅ、鑿ナ
タレハ、七日ニシテ渾沌死セリト、此ハ莊周ガ内篇ノ結尾

ニ用ヒタル語ナリ、儵忽ノ二字ハ、皆タチマチト訓ス、故ニ以テ帝ノ名トシテ、人間界ノマタ、ク中ニ移リ換ルヲ表スルテリ、渾沌ハツンベラトシテ、何ニモナキ形ナルヲ以テ、此ヲ中央ノ帝ノ名トシ、大質ヲ形容スルナリ、其渾沌タル者ニ、一日ニ目チ一ツ、又一日ニ耳チ一ツト、鼻口等マデ作りタレハ、七竅チ作り畢ルト、其形ハ死セリトハ、文節チ造シ畢レハ、自然ノ妙處ハ消滅スルトナリ、以テ虚飾ノ實チ害スルト云フ意チ説ケルナリ、老子莊子チドハ、虚無自然チ旨トス、故ニ禮ハ忠信ノ薄キナリナド云ヒ、仁義チユリテ大道ハ滅スト云ヘリ、

目今ハ幻華世界トヤ云フ、浮虚世界トヤ云フ、故ニ稍々識見アル輩ハ、風潮ノ厭フ可ク、惡ム可キチ知り、感激ノ餘リ、遂ニ虚飾ノ名チ掲テ、無用ナル飾ハ排斥シ盡サント欲スルアリテ、理學ノ眞面目ハ莊子ニ踰ルナシ、是チ熟讀スベシトテ、因テ公然ト聖人チ嘲リ罵ルモ、其力量ハ未ダ晋ノ竹林ニ遊ヒテ七賢ト稱シタル人ヨリ下ナル者ノミ、若一ニノ阮籍劉伶ノ如キアルモ、要スルニ、弊害チ世上ニ流スノミ、試ニ文質チ分拆シテ、其大旨ノ中道チ示サン、夫レ質ナル者ハ、生ノマ、チ云フナリ、今天地ノ間ニ生スル者チ見ルニ、鳥ニ孔雀翡翠ノ如キ、羽毛ノ美麗ナルアリ、

獸類ニモ虎トカ豹トカ云フ様ナル、皮ノ美ナルアリ、草木ニ至リテハ、其木地ノ斑文アルヨリ、花ノ紅紫碧白、人ノ眼ヲ眩スルヲ、采色等ノ及ハザルアリ、加フルニ、香氣ノ馥郁タル、誠ニ愛スベシ、人ニ在テモ、美人ノ顔面ナド、畫ニ勝ルアレハ、質ヲ必ス素朴ナルト云フベカラザルナリ、然レモ文ノ字ニ對スル故ニ、質ハ飾リナキ素朴ナルヲ指シテ云フノミ、文ナル者ハ、文飾トテ、人力ヲ以テカザルヲ云フ、然ル處、白木作りノ器物モアリ、祠宇モアリ、彫刻ヲ用ヒザルアリ、又アラムシロノ、周人ノ云ヘル越席ナド同様ナルアリ、又牛ヲ煮タル汁ノミニテ、五味ノ加ヘザル、之ヲ大滷羹

ト云フアリテ、禮ノ模様ト爲セリ、之ニヨラハ、文ニモ飾リナキアレモ、質ニ對スレハ、カザリト訓ス、大凡天地ノ間ニ在ル物ハ、多クハ兩般ニ分レ、兩儀ニ配ス、男女雌雄牝牡ヨリ、名物ノ類ヲ舉クレバ、剛柔文武清濁尊卑上下緩急ヨリ、五行十二支ノ類マデ、皆陰陽ニ配ス、甲丙戊庚壬ヲ陽トシ、乙丁己辛癸ヲ陰トシ、子寅辰ノ類ハ剛トシ、丑卯巳ノ類ハ柔トス、サレバ、質ハ陰ニ屬シ、文ハ陽ニ屬ス、質ノミニテハ、化生ノ妙ナシ、文ニ過レハ、本ヲ失ヒ害ヲ生ス、然レハ此兩段ニ差別シテ、万件ヲ裁制セハ、何事カ判然ナラザランヤ、政治ニ就テ見レハ、大凡諸禮式土木ノ事ハ、陽ニ屬ス、法律

兵馬ノ制ハ、陰ニ属ス、神ニ事ヘ佛ヲ奉スル者、亦自然ニ陰陽ノ別アリ、神モ色々アレドモ、發生ノ意多ク、神樂ナドノ、人心ヲ動カスナリ、佛ハ乾竺ノ人ナレハ、其土風ニモヨランカ、少シ肅殺ノ氣アルヲ覺フ、今人家ニ子ノ生ル、アラシニ、其父母タル人、之ハ喜ブベキ事ユヘニ、其生レ子ヲ抱テ、寺参リヲ爲ルト云ヘバ、何カフツリ合ニテ、咲フ人ノ多カラシ、此モ其教ノ主旨ニハ非サルナレドモ、佛ヲ信ズル心ヨリ、此人間界ヲ厭ヒ憎ミテ、死ヲ待ツニ至リ、或ハ未來ニ美麗ノ一世界アリト信スルニ至ル、是ハ其教ノ陰ニ属スルヨリ、然ルヲ來スナリ、今ノ莊子メキタル論者モ、マサカニ

脩飾ハ悉ク無用ナレハ、衣服モ、エリソデ等ニカザリハ用ヒズ、又一層ス、メテ、衣服モ着ケズニ、裸裎ニテ、毛獸同体ニト云ヒ、冠ヤ履ハ無用ノ飾リナリ、頭ハオ、ヒヲ脱シ、足ハ跣ヲ便利トス、何ソ宮室道路ノ別ヲ用ヒンヤ、土足ノマ、ニ往來セシト、又上下ノ等夫婦ノ別モ、メテ、用ヒサラント、彼ノ斗量ハ破レ、權衡ハ折レト云ト、同キ事ヲ説ニハアラズ、然シ其極ヲ推セハ、是ニ至ルナリ、サテ又文ノ過キタルハ、亦迷惑千萬ナル事ナリ、事々虛華ニ過キ、驕奢ニ陷ル、教會學舍政黨ナド、皆實ニ離ルト聞及ヘドモ、他ノ事ハ其眞ト誹謗トチ知ラズ、吾孔子ノ道ヲ傳ヘ、世ノ儒生ト目ス

ル人ヲ見ルニ、大ニ世評ノ如キ多キナリ、世評ニ云フ、胸ノ
中ニ仁義ナクシテ、舌ノ先ニ仁義ヲ説キ、腹ノ底ニ、道德ヲ
クシテ、口ノ端ニ道德ヲ講ズ、此ノ仁義道德ハ、仁義道德ノ
脱殻ナリ、仁義道德ハ珍重セラル、モ、亦名實相伴フ所ニ
アリ、ソノ脱殻ニ至リテハ、天下ソノ下風ニ立ツヲ耻ツ、
孝悌忠信モ脱殻ナリ、太極兩儀モ脱殻ナリ、唐虞三代ノ制
モ脱殻ナリ、其講説スル所、一トシテ脱殻ナラザルナシト、
此評大ニ當ソリ、嗚呼浮虚モ亦甚シキナリ、

今ノ人士ヲ熟察スルニ、皆天下ノ用タルニ志アルニ似タ
レモ、亦退歩靜ヲ守ルナキ能ハス、退歩トハ云ヘモ、猶自、ラ

利スルニ心アリ、先其汲々トシテ政黨ト稱シ、學派ト稱シ、
救世ノ心アル人ヨリ之ヲ論ゼンニ、陽ニ過キザレハ、必ス
陰ニ過ギ、遂ニ其中ヲ失ヘリ、能名ト實トノ間ヲ守リ、文ト
質トノ中ヲ執リテ、以テ彬彬タルノ美ヲ得ルハ、何ソ人道
ノ極ト稱セル此道ニ從ハザル、此道ニ從テ、其實ヲ得ハ、自
ラ世人ノ嘲ヲ免レ、生々ノ美アツテ、陰陽ノ中間即チ中和
ノ氣ナル者ヲ得テ、一人一家皆融令至樂ノ境界ニ安ンゼ
ンノミ、

言行襍錄

杵築ノ城下上町ニ、ハツトイヘル女アリ、父ハ半六トテ、入

婿ナリシガ、ハツガ三四歳ノユロ、夫婦ノ縁キリテ、イデケ
レバ、ハツハ母ト二人、乏シキイトナミシテ暮シケリ、家キ
ハメテ貧シク、ユトニ借銀イヤマサリテ、家ヲモ地ヲモ人
ニウリテ贖ヒケレバ、隣ニスミケル定七トイフ者、不便ニ
思ヒ、己ガ薪ヲドタク小屋ヲカシテ、スマハセケリ、母ハ病
ヒガナニテ、スギハヒノ手業モカナハ子バ、ハツ七八歳ノ
ユロヨリ、菓子ナドウリテ、ソノ利潤ヲモテ養ヒケリ、商ヒ
ノ多キ日ハ何カノイトナミ、心ヤスシトテ、母ノヨロコビ
ケレバ、常ヨリモスクナキ時ハ、母ノ心安カルマシト、心ク
ルシゲニ、ミヘシカバ、人々ノアハレガリテ、イツモチ、ク

ゾモトメケルヤウヤウニ、成長シテ、イブセキ中ニモ、人ノ
織ヌフロザナト、助ケテ、ソノ賃錢ヲ、孝養ノ費ニアテケリ、
母ハ病ミ衰ヘヌレバ、醫療ノ事ニ、心ヲ盡セド、目サヘハカ
バカシクミエズ、朝夕ノクヒモノトテモ、ハツガ手ニテ調
シケレバ、人ノ家ニ雇ハレユキシ時ハ、シカシカノヨシイ
ヒテ、モノクフ頃ニハ、カナラズ歸リテ、其設ヲナシツ、年ハ
マダ十三ナルニ、カク孝心深カリケレバ、寶曆三年四月ニ、
領主ヨリ錢ヲアタヘテ賞シケリ、ソノ後母ノ病イヨイヨ
重リテ、物ヲモスグニクハザリケレバ、ナニモガナナドオ
モフ折シモ、魚ノ鹽辛ニ、酒カケタルユソホシケレト、イフ

ニ、出ノトスレバ、丑ノ刻ニモナリヌラントテ、人々ノトビ
メシチ、シイテイテ行シガ、ヤガヲ求メテ歸リケレバ、母ユ
トニヨロユビテ、少シハ物ヲモクヒントナン、カ、ル事
モ、領主ニ聞エシカバ、同キ六年八月ニ、又錢ヲ賜ヒケリ、同
キ十一年二月トイフニ、母ツイニウセケレバ、領主ノアタ
ヘシ物ヲハシメ、人ノメグミシ銀ナド、孝養ニ用ヒシ残り
モアノド、チノガ事ニハツカハズシテ、母ノ石塔ノ費トシ
ケリ、カクテ祖母ノ塚、メシルシナキガ、心ウシトテ、ユレチ
モ建ントシケル程ニ、母ノ印建ヌル上ハ、孝心ハトドキヌ
ベシ、祖母ノ印ハ置クトモナド、諫ムル人モチ、カリケル

ニ、母ノ印建タル事ノウレシケレバ、祖母ノ印ヲ建タラン
ニハ、母モウレシトヤ、オボスラント云テ、其ノ夏冬ノモノ
マデ、ウリシロナレ、ユレチモ、又イトナミ、又隣ナル定七モ
カレガ、志ニ感シ、婦ニセバヤト、思ヒシカド、其子ノ和助ト
イヘルガ、心根ヨカラデ、家ヲ出ケレバ、心ニマカセズ、打過
シガ、ハツハ定七ヲ親ノ如クニ介抱セシカバ、ソノ年ノ二
月、領主ヨリ又モ銀ヲアタヘテ、褒美セリ、カクテ定七ハ中
風ヲ病デ床ニノミアリシチ、懇ニイタハリケレバ、定七モ
ウレシサノアマリ、臥チガラ手ヲ合テ拜ミシ事モアリシ
トナン、定七チクナリテ、チノハチチモイトナミ、祠堂銀

マテ、寺ニナクソリ、其ノテ和助ハカヘリキテ、先非テ悔シ
カハ、人々ハカリテ、ハツニメアハセ、定七ガ本意ヲモトゲ
サセケリ、

詩文雜評

武城絃歌說貽梁溪君

物徂徠

昔者子游爲武城宰、孔子過之、聞絃歌之聲、莞爾笑、何
其喜也、牛刀之喻、又何若有所譏諷者乎爾、及子游有
學道之對、則直戲前言、不復與辨之、抑何其醞藉也、破

子游事見論語陽貨篇

長藩大夫梁溪君者

梁溪君、長門人、姓山內、稱縫殿

好樂、願

歌

縣子爲余稱道其事、欣欣然喜形乎色、縣子、山縣

周南也

君蓋

嘗從縣子學先王孔子之道、吾未知其所詣於子游、何

如也、

願子遊以一束

大氏世君子亡論庸愚、其聰慧者、務出知

與才、督過其下、銖別善惡、賞罰從之、亦唯莠可去、而惡

不可殺也、

言治術之失宜

上寡下衆、殆乎勞矣、且下之於上、捷

於景響、才以才應、知以知應、才與知交、鬪而上卒、病是

國家之所以難乎治也、

上用才知、則下亦以才知、相抗耳

且萬國成風

萬家成俗、辟諸涿水橫流、豈一力所能障乎、古先聖王

知其若斯也、是以作爲禮樂而教天下、

括禮樂字、願上

治、夫禮美其觀、樂娛其聽、順乎耳目之情、納諸中和之

德、故惡不必鋤、習成於善、大者大生、小者小生、上下與

天地同流、孔子曰、天何言哉、四時行焉、百物生焉、贊先
王之道也。取微于聖語故聖人之德雖大哉、亦必有術以行
之、王道之所以易易也。出禮記、其微益著矣雖然二三子猶以爲
隱焉者、其所至人人殊也、夫愛人易使、孔子言之、子游
言之、大者大生、小者小生、亦何必強其所至乎、今長之
爲邦、吾未知其於魯何如也、而豈出於武城之下哉、梁
溪君亦古之卿也、則非如子游爲宰者比焉、况長方與
庠序。學校始成祀先聖、祭孔子其地東接藝備、北隣石雲、而其
南乃海西九州屬之、則風之所被及、豈止一邦之化哉、
縣子之喜、不亦宜乎。應上文欣々然喜形乎色、小束、雖然吾豈強其所

至哉、亦在君自取焉耳矣、故子嘗以爲牛刀之喻、亦觀
其志者、爲是故也。括牛刀字、是法、雖然以下、後梁溪君、任其自取、尤妙、

鷄ヲ割クニイヅクンゾ、牛刀ヲ用ヒントノ語ニ據リテ、
君ノ樂ヲ好ニ取り合セ、大氏世君子トアル以下、世上ノ
治術ヲ施ス人ノ善惡ヲ細ニ分別シ、賞罰ニテ下ヲ治ル
ハ、宜シキヲ失フノ意ヲ説ケリ、上下抗爭スルノミニシ
テ、優游和樂ノ美ナケレハナリ、夫禮美其觀ノ句ヨリ以
下ハ、聖人ノ眞治ヲ述ブ、耳目ノ情ニサカラハズ、自然ニ
欣樂ノ情ヲ有セシメ、以テ中和ノ德ノ處ヘ、知ラズ知ラ
ズ入り來ル様ニスル、惡アルモ矧々トシテ責メズ、善ニ

習熟セシム、天地ノ萬物ヲ養成スル如キナリ、世上一般
ニ春風和氣ノ中ニ坐スル如クナラシムル、眞ノ治術ナ
リ、夫君ハ長州ノ大夫ナレハ、其治民ノ方ヲ主トシテ説
クナリ、聖人ノ教モ、乃チ是法ノミ、故ニ政教ニ別ナク施
スノ方ハ一ナリ、故ニ彼ノ教ノ上ニモ、區々トシテ善惡
ヲ細カニ論シ、或ハ情ニ背ク如ク、人心ニモアルハ、
皆天理ノ自然ニ反違スル者ト知ルベシ、要スルニ、此人
間世ヲ治メ導ビク者ハ、生ヲ好ムノ字面ヲ忘ル可カラ
ズ、其身モ欣々歡々トシテ、一生ヲ了スベシ、一家一國ノ
人モ、權樂ノ中ニ在ラシムベシ、此ヲ聖人ノ道ノ主旨ト

云フ事ハ、尋常ノ書生ノ知り得ザル所ナリ、故ニ之ヲ詳
ニス、得菴居士カ歐洲ヨリ歸ラレタル時ニ、余ガ爲ニ種
々海外ノ事ヲ説カル、其中ニ彼土ノ人ハ、儀式モ自ラア
リテ、又ハ集會ノ節ニハ、必ス樂ヲ奏シ、唱歌ヲ作ス、其禮
ノ中ヲ得ルヤ否ト、樂ノ和ニ當ルト否トハ、吾ガ知ル所
ニ非ルモ、其禮樂ノ化ヲ實施セルハ、大ニ美ナリ、吾邦ニ
モ、傳來ノ樂モアレハ、實施スル様ニ致シタキナリト、語
ラレタリ、樂ハ實ニ人心ヲ和スルナリ、歌ヤ詩ト雖モ、之
ニ志ザセル人ハ、何トナク敦厚寛和ノ風アルナリ、教ニ
心アル人ハ、此ノ處マデ注意セラレタキ事ナリ、

會友詞林

富峯日出圖

大坂小原竹香

金鳥生海底飛上富山巔半腹蒸春靄三峯捧玉蓮
春靄玉蓮ノ字融和ノ秀色ヲ含ム全篇簡潔ニシテ靈氣
アリ芙蓉峯ノ九霄ニ聳タル勢アリ

全

大坂稻垣秋莊簡

富峯高處上朝陽赫々堂々放瑞光光被自吾東海表
還方萬里大西洋

瑞光ノ覃及スル所ヲ以テ趣向ヲ立ツ思想自ラ凡ナラ
ズ

全

大阪關 楓陰廷永

金鳥夜躍海濤中飛上扶桑第一峰雪與朝暉相映發
雲間八朶玉芙蓉

字々清瑩ナリ竹香翁ト暗合亦一奇

題富士岳

周防東 澤瀉

崔嵬削玉宿雲空宛似芙蓉拆曉風爛燦光搖半天外
嫣然影落大湖中未知五岳孰兄弟唯與三山爭雌雄
試自頂頭一回首將通上帝玉宸宮

氣息ノ天關ニ達スル其壯快イカン頸聯自ラ禹域ヲ壓
スルノ意ヲ含ム尤妙

讀弘道新說感於孝女阿以麻事賦長句示少年

大阪田部苔園密

誰道性無善、一元生自亨、天賦公而美、心事潔而清、以麻幼失母、泣極殆傷明、後母舉兒二、家貧苦自營、以麻晨行圃、昏乃上織棚、忘糞勞、織手未全得歡情、以麻永備仕、夜纒得餘贏、輒易鹽與麥、昏定竊携呈、備主初獨訝、婢索情郎行、既審憐、彼意弛督縱、至誠母偶携父逸、去住浪華城、父老母乃背、貧鱗兀如盲、以麻戴星馳、負父還柴荆、晝耕且夜纒、萊衣足歡聲、隣里感其操、相呼贈稻秬、茅簷烟自煖、春色酒漾豐、純孝三十歲、斯心若

瓊瑩樂之竟忘嫁、父亡守其瑩、嗟夫以麻女、野乘見其名、又躬弔其跡、書曰人倫英、皇天斯心在、不磨一石貞、前漲招魂水、永與天風鳴、

天賦ヨリ説起シ結フニ天風ヲ用ニ作者心ヲ用フル處、中間縷述シテ極テ詳悉、少年ノ暗記ニ供スト云フ、少年宜シク三復シテ孝ノ大ナルヲ知り、以麻ヲ學ハザルベカラズ

附言

來月初二日、春季釋奠、遠地之會友宜寄獻詩文、近

邑之士來會盡半日之歡亦任其志

明治二十二年二月五日 印刷
同 年二月二十日 出版

東區淡路町一丁目三十四番屋敷

香川縣士族

著述兼發行者 藤澤南岳

東區南久寶寺町四丁目廿一番屋敷

大阪府平民

印刷者 岡島幸次郎



